

平成24年度 府立海洋高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）年度末評価

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>家庭・地域社会及び関係機関との連携を図り、社会総がかりの教育活動を展開し、将来の地域社会を支える水産・海洋の将来のスペシャリストを育成する。</p> <p>校是 率先垂範 責任完遂 和衷協同 反省検討</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「京の貝」をテーマとした目指せスペシャリスト事業完成年度であり、各学科・コースの研究活動が充実した。</li> <li>生徒一人ひとりに対応した組織的な進路指導により、就職では10年連続100%を達成した。</li> <li>全校体制での粘り強い生徒指導により、「規律を大切にす学校」という校風づくりが推進できた。</li> <li>教育相談機能や組織的指導力を高めることで、原級留置・中退防止に向けた取組を進める必要がある。</li> <li>生徒・教職員のさらなる人権意識の向上を図る取組とともに、それを実践する活動を推進する必要がある。</li> <li>レスリング、ウェイトリフティング、ボート、カッター部が全国の大会に出場するなど、部活動が活性化した。</li> <li>魅力ある教育活動を展開・発信し、本校、志願者数の増加を図る必要がある。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>魅力ある教育活動を展開・発信し、本校、志願者数の増加を図る。</li> <li>「学力向上フロンティア校」として、キャリア教育を踏まえた学びの仕掛けづくりを行い、「質の高い学力」を育む。</li> <li>海洋高校ならではの魅力や特色を生かした生徒の希望進路実現を組織的に支援する。</li> <li>人権意識を基盤として、規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性や社会性を育む活動を推進する。</li> <li>生徒全員の進級・卒業をめざし、教育相談機能や組織的指導力を高める取組を推進する。</li> <li>事故・災害等に対する危機管理機能の向上並びに、安心・安全な教育環境を整備する。</li> </ol>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
			中間	期末	総合	
学校運営	●魅力ある教育活動を展開・発信し、本校の志願者数増加を図る。	○学校ホームページ・携帯電話サービス等による学校広報の一層の推進を図り、生徒の活動の様子を地域・保護者等へ発信する。	B	B	B	●学校HP更新年間500回、アクセス10万件以上、保護者メール100回以上。積極的に発信を行い、保護者理解が高まり、志願者の増加に繋がった。
学習指導・進路指導	●「学力向上フロンティア校」として、キャリア教育を踏まえた学びの仕掛けづくりを行い、「質の高い学力」を育む。	○キャリア・トライアル・ウィークをはじめとして、キャリア教育の観点を踏まえた教育活動を全教科体制で推進する。 ○活用する力の向上に向けて、地域連携活動を推進し、学習内容のまとめ・発表をする「ことばの力」トライアルの取組を進める。	B	A	A	●南水研生徒発表最優秀賞、教育長表彰57名（卒業生の64%）をはじめ、資格取得並びに研究活動が充実した。 ●研究実践等のまとめを「ことばの力」トライアルとしてHP掲載、新聞に投稿（掲載5回）した。今後、内容のさらなる深化が必要 ●就職は11年連続100%を達成（公務員6名含む）、進学も国公立大学8名（水産大学校含む）をはじめ卒業時にはほぼ100%を達成した。
	●海洋高校ならではの魅力や特色を生かした生徒の進路選択や希望進路実現を組織的に支援する。	○新学習指導要領を踏まえた指導と評価の改善を行い、海洋ならではの教育活動を進めることで、生徒の希望進路実現を図る。	B	A		
生徒指導	●人権意識を基盤として、規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性や社会性を育む活動を推進する。	○人権意識の向上を図るとともに、挨拶をはじめとするコミュニケーション力を高めて人間関係形成力を育む。 ○基本的生活習慣の確立を支援するとともに、達成感や自己有用感を感じることでできる部活動やボランティア等の主体的活動を推進する。	B	A	A	●いじめの防止、挨拶マナーの向上を呼びかけ、生徒の様子が落ち着いた。 ●日常の指導に加え、下宿訪問週間を年3回に増やして下宿生の生活指導・相談を推進した。 ●部活動加入率96.3%、全国大会入賞多数。部活動の活性化が、生徒全体の自信と人間力向上に繋がった。
	●教育相談機能や組織的指導力を高め、進級・卒業に向けて、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばす教育活動を推進する。	○学習・生活面でのつまずきや困難さを感じる生徒への教育相談や個別指導等を組織的にを行い、生徒全員の進級・卒業を実現する。 ○関係機関とのコラボによる専門教育の深化と6次産業化への取組を推進し、生徒の「展望する力」「挑戦する力」を育む。	B	A		
健康と安全	●事故・災害等に対する危機管理機能の向上並びに、安心・安全な教育環境を整備する。	○安全に実験・実習が実施できる教育環境の整備と危機意識の向上に努める。 ○災害に対する訓練を行い、地震や津波等の災害や事故等に対する危機対応力を高める。	A	A	A	●定期校内巡視で施設設備の安全点検を行い、危険箇所の改善、多くの不要備品等を整理した。 ●実習船における非常退船避難操練やKYT（危機予知トレーニング）、津波を想定した栗田幼・小・中学校と本校の合同避難訓練を実施した。

A：十分達成できた B：ほぼ達成できた C：あまり達成できなかった D：ほとんど達成できなかった

平成24年度 府立海洋高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）年度末評価に対する学校関係者評価

評価領域	評 価
学校運営	<p>○積極的な広報活動が功を奏して、地域社会における海洋高校のイメージが大きく向上している。</p> <p>○新入生確保に向けた体験会・見学会等の取組も前年度からの改善が見られ、参加人数や志願者数増加に繋がっている。</p> <p>○寮・下宿生の割合が増え、地元の生徒が減っているが、学校としての方向性を出すべき時である。</p> <p>○生徒並びに教職員の人権意識の高揚を図り、いじめ・体罰を許さない学校経営を推進してほしい。</p>
学習指導 進路指導	<p>○専門学科の特徴を活かした学習研究活動の推進が見られた。新聞掲載やテレビ放映などで海洋高校生の活躍をよく目にする。</p> <p>○高校生1dayレストランなどの活発な取組が見られるが、地域社会との連携に留意して取組を進めてほしい。</p> <p>○教育長表彰をはじめとする資格取得や研究実践活動での体験は、他校では得られない海洋らしさを象徴するものとして魅力がある。</p> <p>○学習に躓きのある生徒への対応も丁寧に行われており、すべての生徒を大切にしている姿勢は評価できる。</p> <p>○就職内定率、進学実績のいずれを見ても生徒の伸びを感じられる。生徒の希望進路実現に繋がる教育活動は高く評価できる。</p>
生徒指導	<p>○挨拶の励行や制服・頭髪指導をはじめ、規範意識を醸成する教育活動により、生徒たちは社会で活躍するための基盤となる力を着実に身につけている様子がうかがわれる。</p> <p>○部活動加入率が96%と極めて高く、全国優勝などの成果もあげたことは高く評価できる。</p> <p>○勝利至上主義に走ることなく人間教育を大切に部活動指導にあたられることを望む。</p> <p>○保護者の役割が学校（教員）に任せられ、学校教育と家庭教育の境目がなくなっている様子が見受けられる。特に、下宿生・寮生への生徒指導については他校にない負担となるが、学校としての責任の中で可能な限り丁寧な指導を行ってほしい。</p>
健康と安全	<p>○下宿生・寮生の病気や怪我への対応には多くの時間と労力をかけ、丁寧な対応が行われている。</p> <p>○危険を伴う実習における安全管理及び生徒への指導は、職業教育ならではの毅然としたものであり適正に行われている。</p> <p>○躓きや課題を抱えた生徒が多く在籍するなか、教育相談や特別支援教育の観点からの取組も継続して推進してほしい。</p> <p>○登下校の自転車や夕刻の部活動（校外ランニング）等における安全対策・生徒指導の徹底が臨まれる。</p> <p>○栗田地区幼・小・中・高校合同の津波避難訓練の実施などは評価できる。今後は地域も視野に入れた取組をしてほしい。</p>
総合評価	<p>○生徒の成長、学校の勢いを感じることができる。</p> <p>○地域や関連産業と連携した取組が多く、ボランティアなどへの取組も活発になっており、学校としての存在感が高まっている。</p> <p>○生徒を人として大切にしている人権感覚や何を学ばせるかという明確な目的意識を持ってしっかり持って教育活動に臨んでほしい。</p> <p>※今年度の重点目標やそれを達成すべく策定された具体的方策については、学校の現状に概ね合致したものであり、また、取組状況も学校としての前進が見られるものであり良好と判断できる。</p> <p>実習船「みずなぎ」の新建造をはじめとして、府民・地域住民からの期待も大きいので、府内唯一の水産・海洋系専門学科として飛躍を期待したい。</p>
次年度に 向けた改善 の方向性	<p>○生徒並びに教職員の人権意識の高揚、いじめ・体罰を許さない学校の経営を推進する。</p> <p>○色々な課題を抱えた生徒も多く、特別支援教育並びに教育相談を充実し、生徒全員の進級・卒業を目指す。</p> <p>○希望進路の実現のための就職開拓や進学指導の徹底を図る。</p>